



## みどりっこ広場通信

NO. 1

緑ヶ丘第二幼稚園

### みどりっこクラブの活動

タイムスケジュールをピッチリとたてて保育するのではなく、お子さん方の遊びの様子を見て保育が展開されます。

保育内容は、普段当園で行われている保育を年齢、発達に応じて体験します。季節の遊びの他造形活動、お料理、リズム遊び、運動遊び等お子さん方の成長に合わせて楽しめる活動を展開していきます。

### みどりっこ広場って？

子育て支援の一環として、私立幼稚園が地域でできること一未就園児のお子さんとお母さん方に幼稚園の施設の開放する事業です。昨年度から、子育て支援をより充実させることを目的として、仙台市の子育て支援事業の一つとして無料で実施できるようになりました。のびすくとは異なり、決まった時間にみんなで揃っておやつを頂き、みんなで揃ってお昼を頂きます。「いただきます」や「ごちそうさま」の挨拶もします。

お子さんのお友達づくりはもちろんのこと、お母さんのお友達づくりもして頂きたいと思います。子育てをする仲間同士でおしゃべりし、情報交換をしてみても如何でしょうか。

### 「ぼくの わたしのありのままの姿を受けとめて！」

2・3歳の幼児は、日常生活の中で意識して多くの“初めてのこと”に出会い、「これは何だろう。」「やってみよう。」と自分から周りの環境に働きかけています。人との関わりも同じで、こうしてみたらお母さんはどうするのかな？お父さんは？おばあちゃんは何？と、日々色々な表現をして周りの反応を見ているのではないのでしょうか。自分の思いが通らないと駄々をこねてみたり、機嫌良く遊んでいたのに突然、泣き出したり。大人から見ると、「えっ、どうしたの？」という行動や表現をすることもあります。おしゃべりはするようになって、言葉で理由を説明したり、気持ちを話したりする程の力はないというのが、幼児期の子どもの姿です。

日々休む暇なくお子さんの世話をするお母さんはい「どうして〇〇するの！」と叱ってしまいがちです。そんな時こそ深呼吸して「こんなこともできるようになった！」と心に余裕をもってお子さんの成長をのありのままの姿として受けとめてみてはいかがでしょうか。お子さんの反応も変わってくるものです。

### お誕生会の取り組み

「お誕生日ってなあに？」とお子さん方に聞くと、「プレゼントもらう日！」「ケーキ食べる日！」という答えが返ってきます。お家の方から愛され慈しまれているんだなあ・・・と思います。でもそれだけでいいのでしょうか・・・

命を与えられたことに感謝する気持ちを育みたいと考え、園では毎月の誕生会でお料理をしています。料理を体験することによってお母さんへの感謝の気持ちが育まれます。

幼稚園児は実際に包丁を持って野菜に手を添えて材料を切ります。幼児に刃物なんて！と言う方もいらっしゃるかもしれませんが、危ないと言われる火や刃物は人間しか使いこなしません。使い方をしっかりと身につけ危険な物と認識すれば、便利なものです。危険だからと使う経験をなくすより、正しい使い方を教え、身につけられるようにすることが大切ではないかと考えています。

年少組はレタスをちぎったり、葉物を切ったりという経験から少しずつ教師が手を添えてキュウリなどを切るようにしていきます。年中組はきゅうりやナス、キャベツ、じゃがいもなど比較的柔らかいもの、年長組は玉ねぎや人参などがたかたり涙が出たり扱いにくいものを・・・と成長の発達段階に応じた食材で取り組みます。「ママも玉ねぎ切るとき泣いてた！」「うちのママは僕が好きなハンバーグ作るとき、ゴージュルするよ！」「お母さんってすごいよね！」と年長さんになって自分も同じ体験をするとお母さんの立場に立った発言も聞かれるようになります。

みどりっこ広場でもお母さんと一緒に料理する経験をして欲しいと思っています。おうちではなかなか忙しいのでお子さんと一緒に・・・は難しいことだと思いますので、活動の一つに取り入れていきます。

### いただきますの意味？！

食事の前の挨拶「いただきます」は一説によると、食材は「生きていた命」でその命を頂いて人間の命を繋いでいるので、そのことに感謝して「いただきます」と言うのだと言われています。お肉という食材ですが、もとは生きていたウシやブタや鳥等です。野菜も芽を出し花を咲かせ実をならせ生長していました。また、私達が食材として手に入れるまでに多くの人の労力ががかかっているものであることにも目を向けたいものです。習慣として身につけることも大切ですが、食べられることに感謝するという意味を理解することが大切ではないのでしょうか。食育は小さい時からの積み重ねです。時折食育についてもお知らせしていきたいと思えます。